

ブルーラインに新形車両を導入します

《2017年春^(※) 3000V形デビュー!》

約10年ぶり!

横浜市では、交通ネットワークの充実による都市インフラの強化を図っています。

このたび、横浜市営地下鉄ブルーラインでは、3000形5次車として、新たに3000V形車両1編成6両を導入いたします。

3000V形車両は、お客様にとって便利で快適な車両になるよう、行先などの案内表示や空調設備の充実、車いすやベビーカーのお客様にやさしい設備の充実など、バリアフリー性の向上を図りました。

また、火災対策の強化、新技術を採用した最新機器や省エネ機器を採用するなど、快適性、安全性、信頼性と環境に配慮した最新車両です。

今後もお客様満足度の向上を図り、安全で快適な車両を提供するとともに、交通ネットワークの充実を図ってまいります。

(※) 導入日時の詳細は別途発表予定

～3000V形車両の概要～

1 外装一新しました

<正面のデザイン>

ヘッドライト形状を一新してアクセントを付けました。車体形状は従来車と同様ながら、^{せいけん}精悍な顔つきに仕上がりました。

<側面のデザイン>

ラインカラーであるブルーを基調とし、ヨコハマを象徴する海を連想させるデザインとしました。ドア横のグラデーションは、ヨットの帆をモチーフにしています。車体横方向に走るラインを水平線に見立て、水平線上に浮かぶヨットを表現しました。その上空にはカモメを配置して立体感と躍動感を持たせました。また、駅ではホーム柵上をヨットが走るイメージで、スピード感と横浜らしさのあるデザインとなっています。



※画像データをご希望の方は裏面問合せまでご連絡ください。

裏面あり

2 内装一新しました

<車内のデザイン>

ブルーを基調とした清涼感のある色調、天井や壁の色も白さを増して、さわやかな印象としました。また、透明袖仕切、大型窓の妻引戸で解放感を持たせました。なお、この扉には、ヨコハマの名所をモチーフとした絵柄を付けて、車両ごとに観光都市ヨコハマをアピールしています。



妻引戸に描かれた観光名所でヨコハマをアピール!



3 取組内容

◎省エネ性向上への取組

- ・高効率モーターの採用
- ・高効率素子採用のインバーターで小型、高効率化
- ・照明のLED化（ヘッドライト・室内灯など）

◎安全性向上への取組

- ・火災対策強化（妻引戸を車両両妻に設置、ゴム床の採用など）
- ・ブレーキ故障時のバックアップ機能の充実
- ・PQモニタリング台車の採用による脱線係数の計測（脱線係数：脱線に関する安全性の指標）

◎バリアフリー性向上への取組

- ・車いす、ベビーカーエリアの充実（暖房器、腰当クッション、車いす固定ベルト設置）
- ・ゆずりあいエリアの荷棚を低く設置
- ・ドアレールに切欠きりかき（ベビーカー等乗降に配慮）

◎運転・保守性向上への取組

- ・運転室機器配置の最適化で操作性向上
- ・列車制御装置の機能充実で運転・保守支援
- ・長寿命機器採用

お問合せ先

交通局技術管理部車両課長 熊谷 勝博 Tel 045 - 326 - 3872